



持続可能な社会を創る 企業と地域の協働セミナー

日産自動車株式会社
チーフマーケティングマネージャーオフィス
マーケティングマネージャー 島村 盛幸
2020年8月25日

いま大義に立ち返る

画像
当日投影のみ



Withコロナにおける社会の変化

感染リスクの軽減

不要不急の外出を避ける

緊急事態宣言解除後も自粛率は依然高く
3密を避ける傾向は続いている*1

緊急事態宣言解除後の土日の自粛率：
東京都(53%) 神奈川(51%)～鹿児島県(22%)

在宅勤務の拡大

4月の在宅勤務実施率の全国平均は**28%**と
前月比2倍となり、今後も増加していくことが見
込まれる*2



将来の収入リスクに備える

将来の家計への不安増加

将来の家計について**約7割**の人が不安と回答*3

- ・給与・収入の不安(62.2%)
- ・日用品、衛生用品などの備蓄品にかかる支出の増加(46.7%)
- ・食費の負担増加による出費の増加(37%)
- ・雇用不安(31%)

節約への関心増加

コロナ影響拡大を機に**節約**への関心も
高まっている*4

Q.新型コロナウイルスの影響拡大をきっかけに
興味を持ったことトップ3

- 1.健康、医療、病気(17.0%)
- 2.節約(15.6%)
- 3.無料動画配信サービス(15.5%)

*1出典：国立情報学研究所・キヤノングローバル戦略研究所・NTTドコモ合同調査

*2出典：2020年4月 株式会社パーソナル総合研究所「新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」

*3出典：明治生命「家計」に関するアンケート調査を実施

*4出典：株式会社ヴァリューズ「新型コロナウイルスの影響拡大によって変化した働き方や消費意識に関するアンケート調査」

WithコロナにおけるEVの新しい価値の創出

- 時代に合わせた新しいお客様のニーズにはリーフだけが寄り添う事が出来る
- コロナ禍での新しい生活様式におけるLEAFなら提供できる特別な価値を訴求

画像
当日投影のみ

画像
当日投影のみ

画像
当日投影のみ

画像
当日投影のみ

画像
当日投影のみ



地域循環共生圏におけるEVの役割



地域循環共生圏に即した取り組み例

日産自動車、新潟にしかん地域循環共生圏協議会、電気自動車を活用した地域SDGsの取り組みに関する事業を発表

温泉×大学×EVカーシェアリングを活用し、観光開発、地域創生を目指す、新たな実証事業を開始



産学連携観光開発スキーム

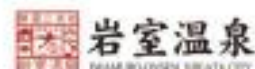
- 通常時のシェアリングに加え産学を結ぶ移動手段として活用
- シェアリングの需要に連動して、温泉、大学でリーフを相互活用。

*土日祝日大型連休時は温泉で観光用に、平日は教職員学生の移動手段として活用。

*eシェアモビステーションは温泉側に設置。

NISSAN

eシェアモビシステムの提供



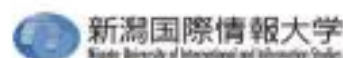
土日祝日大型連休時
温泉で観光利用



活性化のための
地域内共同学習
域内観光利用



観光研究開発Mtg.
の学生移動手段



教職員学生
シェアリング用

平日は教職員学生の移動手段として活用。



地域循環共生圏に即した取り組み例

陸前高田市、日産自動車、東北、「電気自動車を活用した持続可能なまちづくりに関する連携協定」を締結

東日本大震災から10年を迎える復興のまちでの、安心・安全なまちづくり推進



- ✓ 日産自動車、岩手県日産販売会社は、陸前高田市で災害を起因とする停電が発生した際、市が指定する避難所に、日産販売会社の店舗に配備している電気自動車（EV）「日産リーフ」および充電器を無償で貸与する。東北は、自社が所有する電気自動車（EV）「日産リーフ」のレンタカーおよび充電器を無償で貸与する。
- ✓ 陸前高田市は、岩手県日産販売会社の及び東北協力により電気自動車（EV）からの給電を行うことで、災害時においても継続して電力が供給できる体制を整え、避難所の円滑な運営を図り、市民の生命及び身体を守る。
- ✓ 陸前高田市及び日産自動車は、電気自動車（EV）の普及促進の一環として、地域の子どものための環境教育『わくわくエコスクール』を実施する。
- ✓ 陸前高田市、日産自動車、岩手県日産販売会社及び東北は、平常時も電気自動車（EV）の防災対策としての広報活動を推進し、『電気自動車は「走る蓄電池」』としての災害・停電時等の有効性、活用策を市民へ積極的にアピールし、電気自動車（EV）の普及促進と、市民の環境・防災意識向上を目指す。
- ✓ 東北は、環境に優しい観光を推進すべく、二次交通として電気自動車（EV）「日産リーフ」のレンタカーを市に導入する。

日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」

EV活用による地域課題解決

日本各地における地域特有の課題に対し、電気自動車(EV)や充電器の普及など電動化を通じたソリューションの提供を推進しています。

「日産リーフ」が主体となり、政府や自治体、企業・団体と一緒に社会変革を行い、地域創生に貢献する取り組みを行っています。



Thank you